

胃がんについて

彦根市立病院 消化器内科

來住 優輝

胃がんの原因

- ✓ ヘリコバクター・ピロリ感染
- ✓ 塩分摂取過剰
- ✓ 喫煙
- ✓ 過度の飲酒
- ✓ 肥満

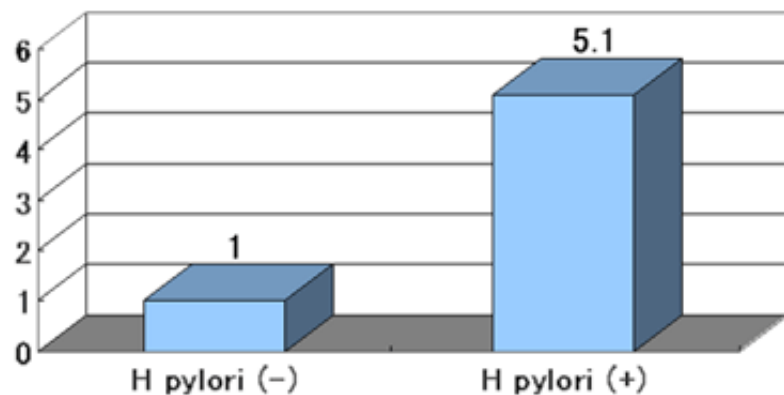
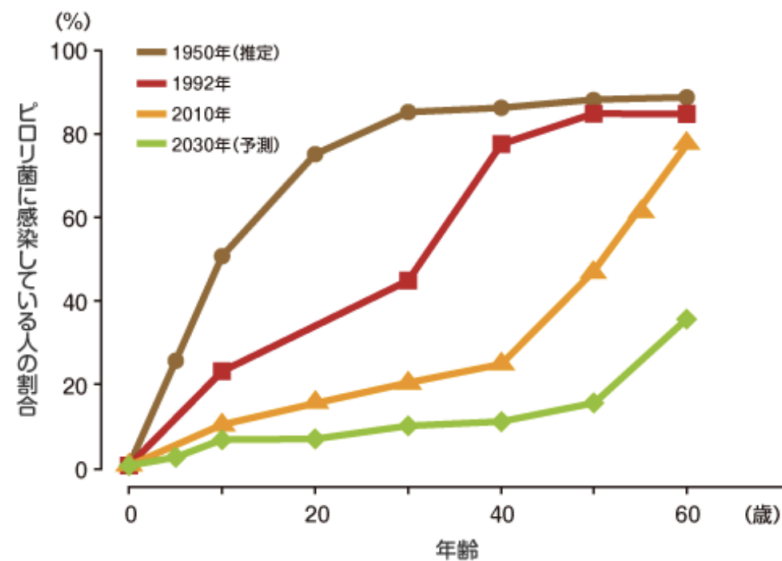


図 1. ヘリコバクター・ピロリ菌感染と胃がんのリスク

日本人のピロリ感染率の過去と将来予測



北海道大学大学院医学研究科 がん予防内科学講座 特任教授 浅香正博先生の研究報告

胃がんの罹患数と死亡数

がん罹患数の順位（2019）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

全国がん登録罹患データ

がん死亡数の順位（2020）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

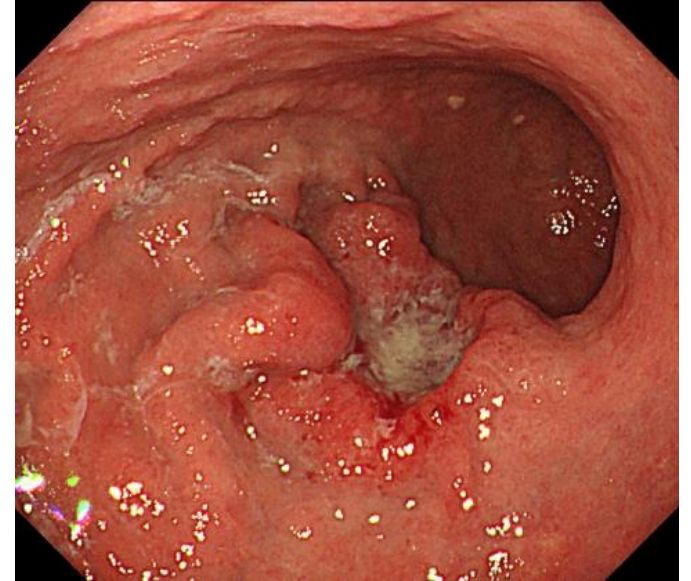
胃がんの診断

自覚症状

胃がん検診



消化管造影検査（バリウム）



内視鏡検査（胃カメラ）



CT（レントゲン）

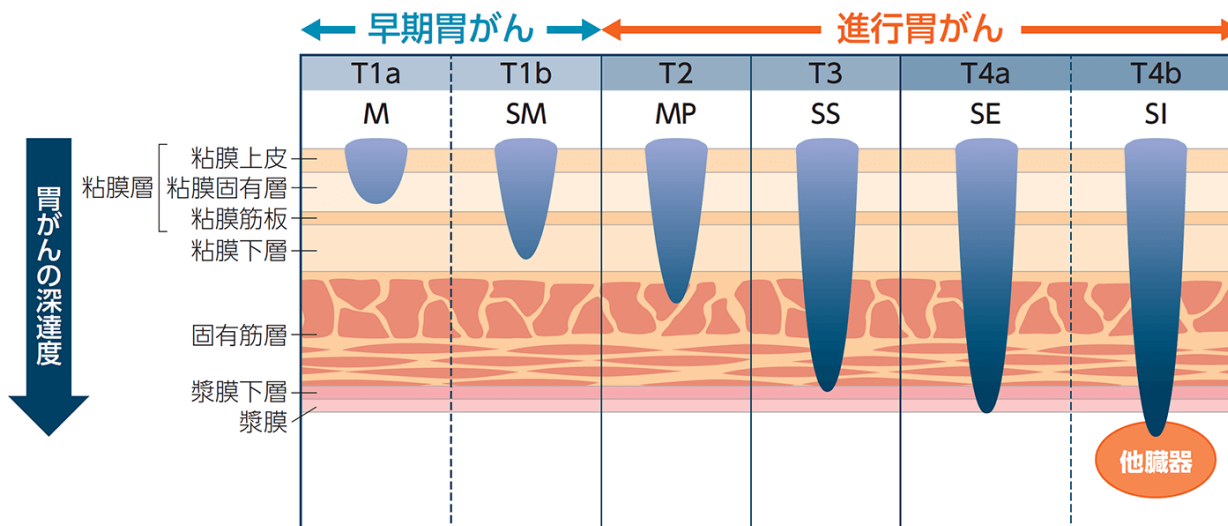
腫瘍マーカー（血液検査）

胃がんの病期

進行度分類 (Stage)

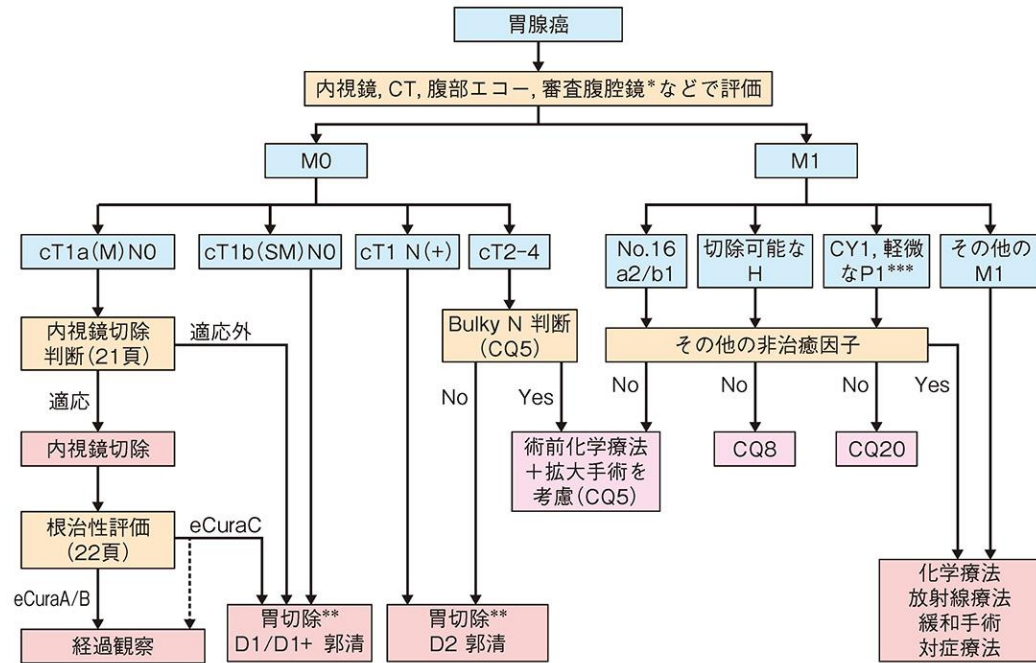
	遠隔転移なし		遠隔転移あり
	リンパ節転移なし	リンパ節転移あり	リンパ節転移の有無に関わらず
T1a T1b T2	I	II A	IV B
T3 T4a	II B	III	
T4b	IV A		

胃癌治療ガイドライン 第6版 2021 より



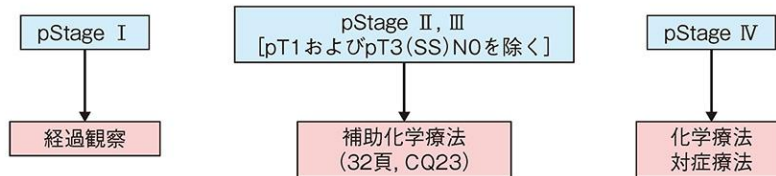
胃がんの治療

- ✓ 内視鏡切除
- ✓ 外科手術
- ✓ 化学療法
- ✓ 症状緩和治療



*審査腹腔鏡の適応についてはCQ10を参照
 **腹腔鏡手術の適応については17頁参照
 ***胃周囲や大網の表面などに少数個存在する結節で、胃切除術の際に容易に切除可能なもの

【手術後】

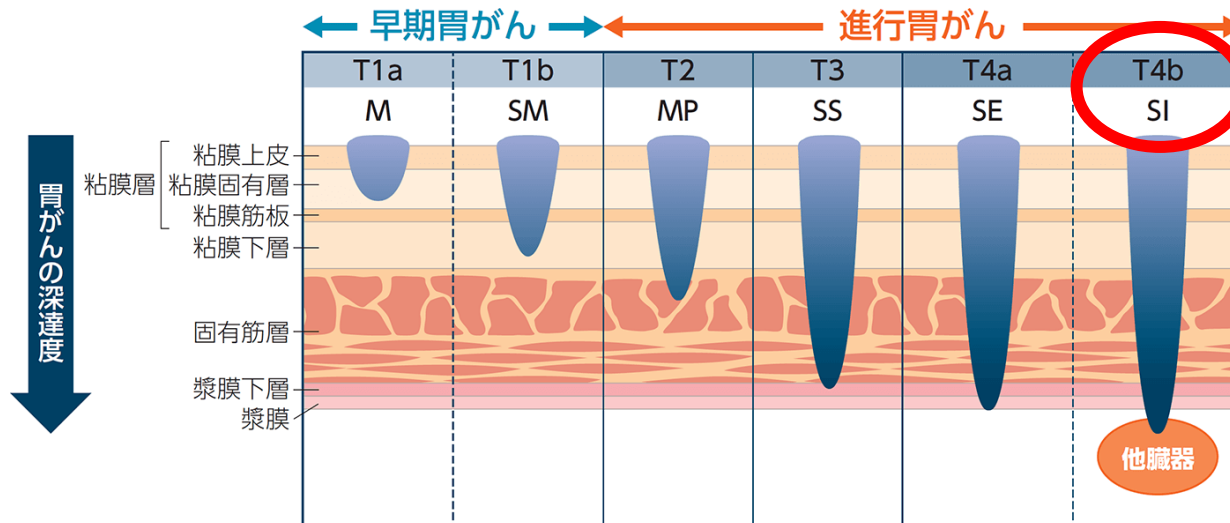


ステージIVの胃がん

進行度分類 (Stage)

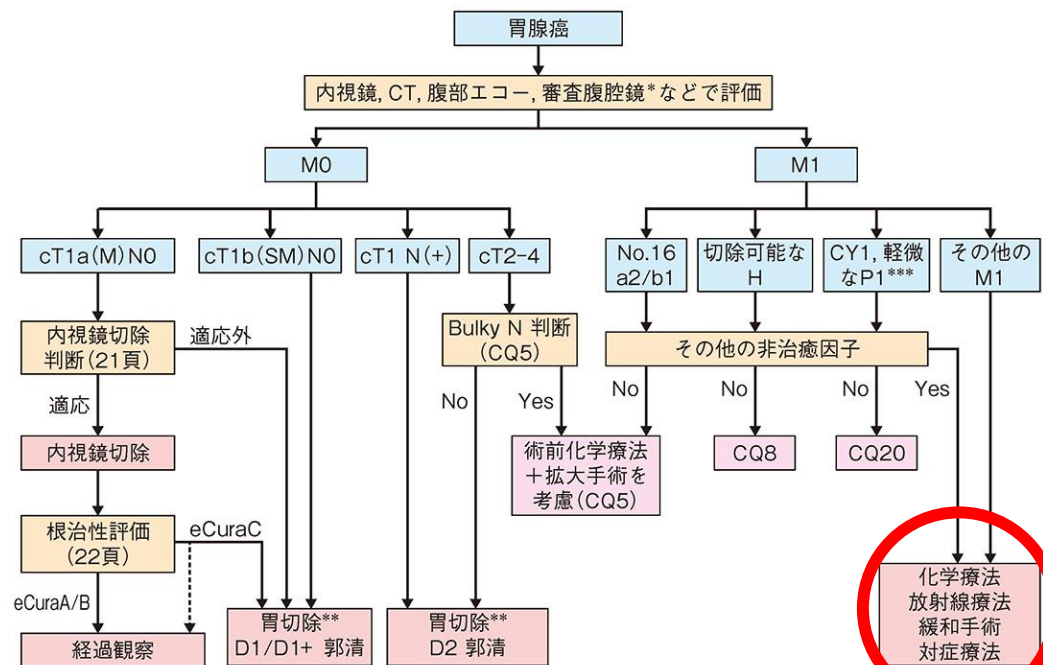
	遠隔転移なし		遠隔転移あり
	リンパ節転移なし	リンパ節転移あり	リンパ節転移の有無に関わらず
T1a T1b T2	I	II A	IV B
T3 T4a	II B	III	
T4b	IV A		

胃癌治療ガイドライン 第6版 2021 より



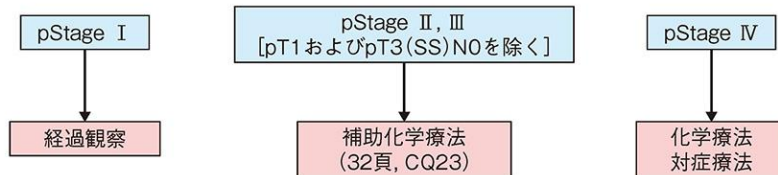
ステージ IV 胃がんの治療

- ✓ 化学療法
- ✓ 放射線療法
- ✓ 緩和手術
- ✓ 対症療法



*審査腹腔鏡の適応についてはCQ10を参照
 **腹腔鏡手術の適応については17頁参照
 ***胃周囲や大網の表面などに少数個存在する結節で、胃切除術の際に容易に切除可能なもの

【手術後】



パフォーマンス ステータス

Performance Status

全身状態の指標の一つ。

患者さんの日常生活の制限の程度を示す。

0	まったく問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。
1	肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。例：軽い家事、事務作業。
2	歩行可能で、自分の身の回りのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の50%以上はベッド外で過ごす。
3	限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
4	まったく動けない。自分の身の回りのことはまったくできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

ECOG（米国）が定めた指標をJCOG（日本）が日本語訳したもの。

ステージ IV 胃がんの化学療法

一次化学療法

HER2 (-) の場合

S-1 + CDDP
Cape + CDDP
SOX
CapeOX
FOLFOX

HER2 (+) の場合

S-1 + CDDP + T-mab
Cape + CDDP + T-mab
CapeOX + T-mab
SOX + T-mab

二次化学療法

MSI-Highの場合

pembrolizumab
weekly PTX + RAM

MSI-High以外の場合

weekly PTX + RAM

三次化学療法

HER2 (-) の場合

nivolumab
FTD/TPI
IRI

HER2 (+) の場合

T-DXd

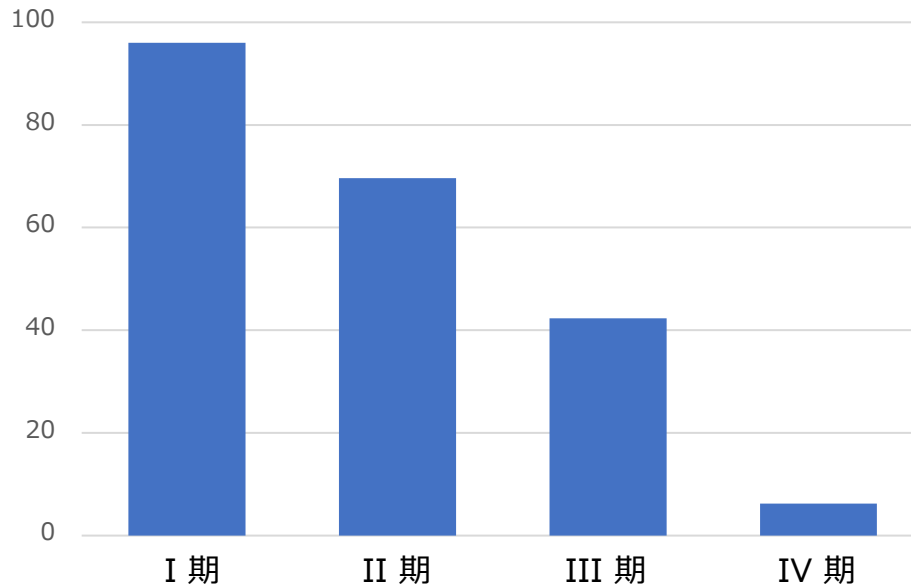
現在はこれらにnivolumabの併用が承認されている。

四次化学療法以降

三次化学療法までの候補薬のうち、使用しなかった薬剤を適切なタイミングで治療を切り替えて使っていく治療戦略を考慮する。

胃がんの病期別 5 年生存率

病期	平均年齢	実測生存率	相対生存率
全体	71.0 歳	62.1 %	72.4 %
I 期	71.1 歳	82.1 %	96.0 %
II 期	71.2 歳	60.0 %	69.6 %
III 期	70.9 歳	37.0 %	42.3 %
IV 期	70.1 歳	5.5 %	6.2 %



ステージ IV 胃がんの困りごと

食事の通過障害

- ✓ バイパス手術
- ✓ スtent留置

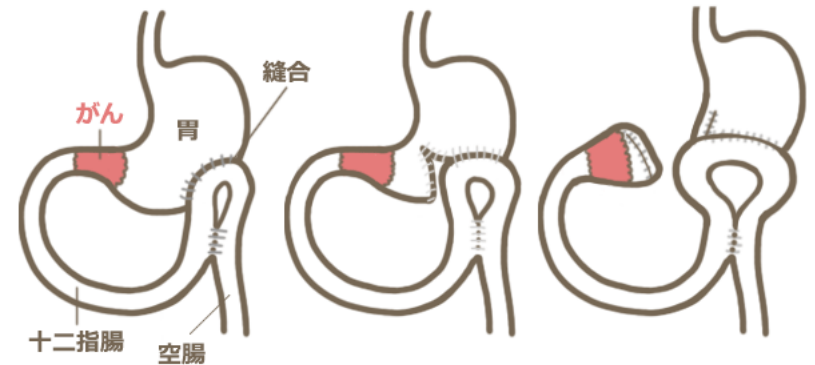
癌性腹膜炎

- ✓ 大量の腹水貯留
- ✓ 消化管通過障害
- ✓ 腹痛

栄養障害

- ✓ るいそう

胃のバイパス手術の例



癌性腹膜炎



胃がんの終末期医療

身体的サポート

- ✓ 嘔気・嘔吐
- ✓ 疼痛
- ✓ 脱水症状

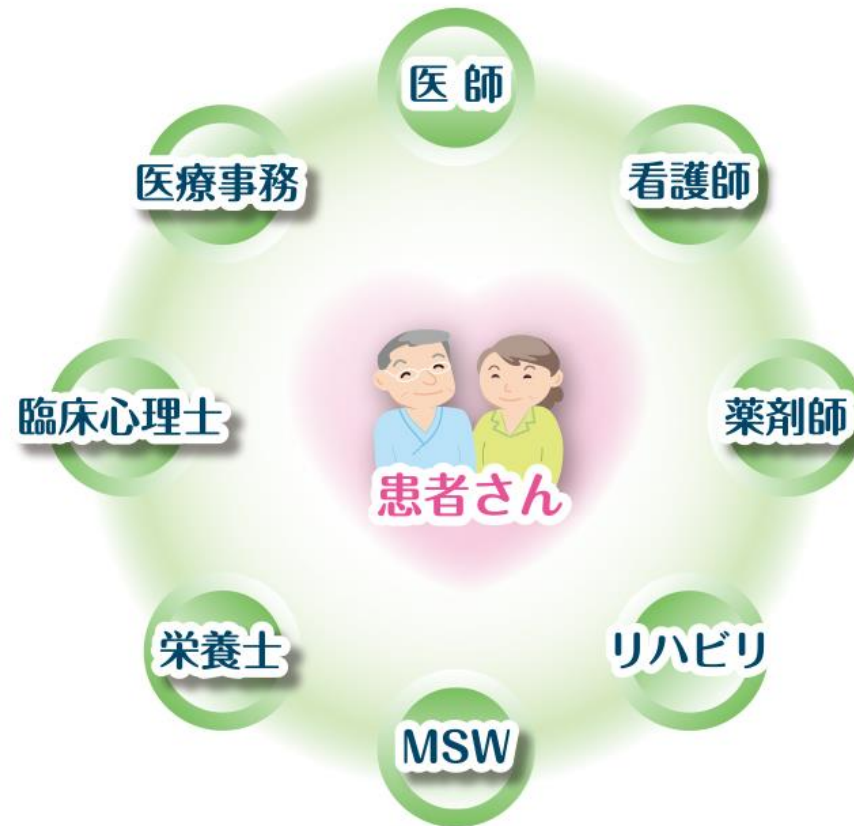
精神的サポート

- ✓ 本人らしく過ごせるように

社会的サポート

- ✓ 家族支援
- ✓ 経済的サポート
- ✓ 情報提供

まとめ



ステージIVの胃がんの治療目標は、（残念ながら）完治ではありません。少しでも（身体的・精神的・社会的な）負担を減らし、本人らしく生きていくことができるよう、多職種によるサポートが必要です。